

## 東海支部愛知地域会 2022年度 第4回役員会 議事録

日 時 : 2022年9月16日(金) 17:00~19:30  
 場 所 : 昭和ビル5階 会議室 (名古屋市中区栄四丁目3番26号)  
 ※WEB会議を併用  
 出 席 : 森哲哉 地域会長 近藤万記子 関口啓介 野々川光昭 各副地域会長  
 (順不同・敬称略) 生津康広 西村和哉 会長補佐 澤村喜久夫 直前地域会長  
 下線オンライン出席 川本直義 宮坂英司 上原徹也 各室長  
 間瀬高歩 笹野直之 恒川和久 東福大輔 杉本憲治 黒野有一郎 柳澤力  
 各委員長・副委員長  
吉元学 石川英樹 各委員長  
 鈴木利明 水野豊秋 両監査  
 委任状出席: 奥井康史 高木耕一  
 オブザーバー: 浅井裕雄 本部理事 岩井隆浩 JIA・愛知賛助会  
 欠 席 : 中澤賢一 川口亜稀子  
 議 長 : 近藤万記子  
 議事録作成担当委員会: 住宅研究会  
 議事録署名人: 上原徹也 東福大輔  
 前回議事録確認: 2022年度第3回議事録

## 議 事

## 1. 地域会長挨拶

来月、沖縄にて開催される全国大会であるが、現在賛助会含め26名の参加状況であり、今後も声掛けが続くことと思う。全国大会の準備で忙しい時期であり、講演会や講習会といったCPD研修が少ないようだ。全国大会終了後、東海支部の準備としてプレイベントのような形でCPDの取れるイベントを企画してもらえると注目度も上がると思う。それに先立ち、沖縄大会終了後の28日、ラグナスイートにてCPD研修が開催されるので参加していただきたい。本日も議事が多いのでご協力をお願いしたい。

## 2. 報告事項

## (1) 本部報告

## ① 第293回理事会(8/24)

資料-1

## 審議事項(すべて承認)

- ・3の委員会規定に関する運用基準修正案の件については、運用規定について分かりやすい文章に書き換えられており、それぞれ委員会の役割と運用の仕方を明文化している。
- ・5の本部 定年後委託再雇用規定改定案の件について、現在経理を担当している方に定年退職後も続けていただくためである。

## 報告事項

- ・遊休財産の保有制限について、特定資産として積み立てることとする。各支部も特定資産積立としていくのが良いのでは。専務理事より話があり、各支部の遊休財産についてはそれぞれ支部運営の中で取り扱いに固有性が出ているため、会計年度までに個別相談にて特定資産、遊休財産の使い方を話し合うこととしている。愛知地域会の遊休財産の内容を知りたい。
- ・ゲスト国土交通省建築指導課長よりオンライン化の進捗状況として、新規事務所登録についてはオンライン化が始まるが、更新についてはまだ見通しが立っていないとの説明があった

(浅井)

## ② 総務委員会(8/8)

資料-2

- ・第3回総務委員会の中で東海支部学生会員入会申込書の変更について出しており、次回理事会で取り上げられる予定。その中で印鑑と性別についての意見が出てきている。
- ・登録建築家についてのマニフェストについて承認されたので理事会にかかる予定。
- ・建築家資格制度等改定案について、先の違反した建築家については自動更新される際、誓約書が付加される内容となる。今後は違反の内容によっては登録抹消期間の設定まで踏み込むかと

いう話がある。

( 水野 )

- ③ 職能・資格制度/建築家資格制度委員会 ( 8/8、8/25 ) 資料-3
- ・建築家資格制度規則他の改定案について、今回の改定は行政処分者に対して厳罰が可能とした。これまで審査について具体的な記述がなく、身内審査による甘さを疑われることがないように条文化した。
  - ・悪意のある行為を想定していなかったが、一昨年の入札談合、昨年の行政処分と続いたため、倫理に反する行為を正していく必要があった。
  - ・なぜ甘くなっていたのか⇒姉齒事件後のタイミングで少しのミスですぐに行政処分を受けた時期があり、それを救済する目的の条文だった。
  - ・JIAは公益社団法人のため会員資格を抹消することはできないのが現実(総会の議決が必要)である。そのため資格制度においては厳しくした。
  - ・資格制度のスタート時は、将来独立性のある認定評議会が審査認定しJIAとは切り離すとして始まったため、法文のような規則細則になった。( 野々川 )
- ④ オンラインセミナー「沖縄で建築家を考える」 資料-4
- ・添付資料ではCPD確定のようにになっているが、現在申請中であり、リンク先も誤りであるため、メール案内の方から申し込んでいただきたい。CPDが付くのはセミナー参加のみ。( 野々川 )
- ⑤ CPD評議会 ( 7/29、8/26 ) ( 野々川 ) 資料-5
- ⑥ GC賞委員会 ( 8/31 ) 資料-6
- ・委員長の田口氏が事情により委員を退きたいとのことで新たな体制づくりをしている。次回実行委員会では鈴木氏が委員長を務める予定。今年は新たに寺田氏が入会した。
  - ・協賛については氏名の修正をした上で改めてお願いします。( 関口 )
- ⑦ オンライン特別委員会 ( 8/24 ) ( 野々川 ) 資料-7
- ⑧ 住宅等連携会議 ( 8/10、9/14 ) 資料-8
- ・シンポジウム「建築家、コストをデザインする」は全国大会沖縄大会プレ企画であるため、ZOOM担当は沖縄支部より紹介していただいたスタートライン深谷氏をホストとして進めていく予定。
  - ・業務環境改善の事務所調査回答率が前回より下回っているのが気になる。事前資料が膨大過ぎたりYoutubeを見たりと面倒だという印象があったかもしれない。もう少し入りやすいような事前準備が不足していたという感じがある。業務量調査においても、本来戸建住宅の業務改善を主な目的としているため、前回よりも戸建住宅の回答数が増えたとはいえ、少ないといった印象があるので考えていきたい。( 西村 )
- ⑨ 広報委員会 ( 8/9 ) ( 野々川 ) 資料-9
- ⑩ カーボン・ニュートラル特別委員会 ( 8/25 ) 資料-10
- 昨秋よりスタートしており、行動指針2023の策定がメインの課題となっており、月2回シンポジウム開催している。前期のうちに発表ができず今期も引き続き活動をしている。1999年よりJIA環境行動指針ができ、形を変えながら作られてきた。今回刷新するにあたり、気候風土適応住宅について各自治体で設定していくこととする。またLCAやバイオマスについても政策提言を進めていくこととするが、行動指針のようなものがないのでカーボンニュートラルマニフェスト集を作ること承認されている。沖縄大会にて収集し、年内に刊行したい。目的は本の作成ではなくJIA会員にカーボンニュートラルに対するマニフェストを集め、それを整理することで行動指針を作っていくという流れになる。新規で特別委員会を作る予定だったが年度途中でもあるため、据え置くこととする。沖縄大会前にも各支部、各全国会議ごとに一つずつマニフェストを提出しなければならぬので興味のある方には手伝っていただきたい。これは個人として提出することとなっている。( 柳澤 )
- ⑪ 正会員メールアドレス管理について ( 野々川 ) 資料-11
- ⑫ 支部運営費(本部からの分配金)について ( 関口 ) 資料-12

## (2) 支部報告

- ① 第3回支部役員会 ( 9/2 ) ( 野々川 ) 資料-13
- ② JIA25年賞について ( 野々川 ) 資料-14
- ③ 遊休財産額について
- 遊休財産限度額が980万円に対し230万円オーバーしており、公益社団法人のため遊休財産をも

ってはならず、特定用途を付けた積立にしなければならない。全国と違い、東海支部は愛知地域会に支えられているというところがある。来週、支部長含め本部より趣旨を確認するが、今年度中には結論を出し報告しなければならないので検討が必要だ。(水野)

財務委員会としてどのようにサポート、リードしていくのが話題になっている。次回委員会では詳細を聞いてみることにする。(森)

- ④ 災害対策支援ネットワーク更新について (野々川) 資料-15

### (3) 委員会、地区会、研究会報告

#### ① 総務委員会

11/17 親睦ゴルフ開催のお知らせ (笹野)

9/12 愛知地域会 HP のあり方について意見交換をした。(間瀬)

#### ② 広報委員会 (欠席)

#### ③ ブリテン委員会

ARCHITECT9 月号より BIM、10 月号からはコンペやプロポーザルのあり方について連載が始まる。

数か月ごとに掲載予定となっている川合健二郎氏について黒野氏に依頼したい。(恒川)

#### ④ 研修委員会

停滞気味だが来月開催予定。賛助会の手伝いについて 2-3 人必要かと思うので早めに連絡を。

(東福)

#### ⑤ 職能・資格制度委員会

9/1 委員会では本部会報告の共有と登録建築家に関するセミナー開催の検討をした。次回 10/13 開催予定。(杉本)

#### ⑥ 事業委員会

9/14 委員会 審議事項について後程お願いしたい。猪高小ワークショップのチラシ作成予定。次回 10 月開催予定 (黒野)

#### ⑦ 建築相談委員会

近畿支部長と同様な件があり、~~について~~名古屋市と弁護士と話を進めている案件がある。

(柳澤)

#### ⑧ JIA 愛知・大学特別委員会

ZOOM による開催。大学授業に関して報酬があるべきという意見に対し、大学側としてできないという返答があったと鈴木先生が伝えている。それを踏まえ今後継続すべきか講師の方々にアンケートをとるといふことで話が進んでいる。新委員長の選定が必要であること、新しく講師を何名か迎えている。(森)

#### ⑨ 住宅研究会

建築家カタログを刷新する予定。6-7 名の方への参加を呼び掛けて検討を進めていく。年内に方針を決定したい。(石川)

#### ⑩ 保存研究会 (欠席)

#### ⑪ 行政 WG

8/11、12 西尾生涯学習センターのコンペ打ち合わせを行った。9/20 ZOOM にて行政ワーキンググループ開催予定 (吉元)

#### ⑫ 地区連絡会

特になし

(吉元)

#### ⑬ 建築家+特別委員会

9/7 事務局にて開催。テーマを「のこす なおす つかう」と正式決定した。(上原)

#### ⑭ JIA 愛知・賛助会

10/28 CPD 積水化学による研修会(ラグナスイート) 予定。11/17 親睦ゴルフ開催(藤岡カントリー) 予定。沖縄大会には 5 名参加、東海支部全国大会に向けて運営を学んできたい。(岩井)

### (4) その他報告

### 3. 審議事項

#### ① 入会届 法人協力会員「(株)エヌ・エス・ピー」

・前向きに取り組んでいただけるとのこと。⇒承認

資料-16

(笹野)

- ② 学生会員の規程改定に伴う入会申込書変更について 資料-17  
 全国統一については支部によって思いが違うため、難しい。今後は総務委員会にて検討が進む。  
 規則 6 条の変更について⇒承認 改定の日付は支部の承認を得てからとする。 (水野)
- ③ 事業報告 JIA 愛知地域暑気払い 2022 (8/5) 資料-18  
 コロナまん延によりキャンセルが出たこともあり景品代を工面するなどしたが、結果としてはマイナス収支となった⇒承認 (笹野)
- ④ 事業計画 JIA 建築ワークショップ「WOOD コレクション 2022 in あいち」出店参加 資料-19  
 ・愛知県全小学生に配布され事前に参加者を募っている。CPD 登録申請済。⇒承認  
 ・主催では JIA ではないのか⇒WOOD コレクション自体は愛知県が毎年開催しており、JIA はそこに  
 出店をする形である。  
 ・愛知県の許可があるのであれば、JIA の HP などでも告知していきたい⇒イベント参加者について  
 JIA に連絡が入ることになっているので、改めて確認をして了承が得られれば告知をお願いし  
 たい。  
 ・今回のチラシをひな形として今後も使用していきたい。ARCHITECT への封入は間に合えばお願い  
 したい。 (黒野)
- ⑤ 事業報告 JIA 建築ワークショップ@豊橋「お店をつくろう！～小さなまちづくりプロジェクト」  
 次回終了報告をする (黒野) 資料-20
- ⑥ NAGOYA Archi Fes (NAF) 2023 中部卒業設計展協賛について 資料-21  
 NAF との交流があるのであれば、一寸格子ワークショップの学生募集に繋がるのでチラシを配布し  
 たい。繋がりという意味では 1 万円に固執する必要はないのでは。東海住宅賞においても 20 名ほ  
 ど手伝ってくれている。来年の全国大会では学生の力は欠かせない。東海支部では卒業設計コンク  
 ールをやっており、学生のやるものにまで協賛が必要かという経緯がありこれまで 1 口だったが、  
 そういった感覚は変わってきているので再考していただきたい⇒何口が妥当か⇒ブックレット (6  
 口) は後に残るが予算的にどうか⇒会長に一任⇒承認 (森)

#### 4. 協議事項

- ① 全国大会 2023 年度について  
 ・2023 年 10 月 26、27 日 常滑市民会館、レセプション会場は観光ホテルにて概ね決定。  
 ・INAX ライブミュージアム会場も OK が出ている。10 月中旬より展示が変わるのでそれと連動でき  
 ることを考えたいと前向きに検討。  
 ・常滑市青木製陶所の高木氏よりアーティストを集めて愛知芸術祭のプレイイベントとして地元の陶  
 芸作家が現地で作品展をしているので一緒に使ってほしい。周辺施設を見て回り、会議室として  
 も使えるし展開しやすそうな感じ。  
 ・10 月沖縄大会にて次年度の全国大会に向けて PR するために実行委員会を ZOOM にて開催したい。  
 日程は相談の上。  
 ・28 日のエクスカッションについてはまだ未定 (浅井)
- ② 愛知 HP の更新について 資料-22  
 ・①から④までは毎年必要なので固定費として認めていただければスピード感をもった対応ができ  
 る。今後は 6 月には更新することとしたい。今年度は 10 月には更新の委託予定。年 1~2 回、費  
 用は 5 万円程度。⑤は都度協議とする。 (森)  
 ・WEB 版⇒お問い合わせフォームに「相談室を何で知ったか」追加してもらいたい。弁護士会との  
 絡みなどもあり、相談者がたらい回しにされてしまう可能性があるため。  
 ・FAX 版⇒電話番号を削除したい。相談者が担当にたどり着くまでに何度も同じ相談を話さなけれ  
 ばならないため。男・女の記載も削除したい。 (柳澤)
- ③ 後援名義依頼 愛知住まい・まちづくりコンサルタント協議会 2022 年度 10 月交流会 資料-23  
 CPD 申請はできないがぜひ参加していただきたい。⇒承認 (川本)

#### 5. 専決事項 (後援名義・広告掲載・協賛など)

- ① (一社) 日本建築協会東海支部会員名簿 名刺広告の応募について (依頼) 資料-24 (森)  
 ② NSK 後援名義について (淵上正幸氏講演会) 資料-25 (水野)

#### 6. その他報告

- ① すまいる愛知住宅賞現地審査（8/30-31） 資料-26（森）  
各賞が決定した。非公式ではあるが公募した若手の方々と交流会を開催できた。
- ② まちなみ建築賞1次審査（9/2） 資料-27（森）  
80程の作品応募があり、20作品が選ばれ、2次審査が行われる予定。

#### 7. 監査意見

- ・遊休財産については掘り下げなければならない。毎年やっている公益目的事業の助成制度について、支部役員会では理事会報告の一環として報告され申請書式も示されたが本日は報告割愛されたので、この場を借りて周知徹底しておきたい。昨年度はコロナで一部延期・中止になった事情下でも助成金は下りており、東海・愛知は良い事業応募をするという定評を得ている。愛知地域会におけるCPD企画が停滞気味だったが、来年の全国大会の絡みも含め、改めて活発に発信する努力をお願いしたい。この数年使えなかった分、公益活動のために使っていくことで遊休財産縮減に反映されればと思う。  
(鈴木)
- ・遊休財産について子供に対するワークショップは良い積立根拠になると思う。
- ・来年の全国大会のためにもぜひ沖縄大会に参加しましょう。  
(水野)

次回役員会 2022年10月28日（金）16:00~18:00（JIA東海支部事務局 会議室・WEB会議併用）

次回議事録担当委員会：保存研究会

（次回総務委員会：2022年10月24日（月）18:00~）

資料提出先：間瀬高歩 総務委員長

議事録作成 石川英樹  
議事録署名人 上原徹也  
議事録署名人 東福大輔